

- 令和8年7月1日発行／発行所・蕨市役所
- 6月1日現在人口：77,661人 前月比 -80人
世帯数：43,612 人口密度：15,197人／km²
- 蕨市の面積 5.11km²

～今月の特集～



- 市立病院の医療サービスの充実……………2
- 検証 市長マニフェスト……………4



きれいなプールに笑顔輝く

先月17日、さくら保育園の園児がプールを掃除。すっかりきれいになったプールで水遊びが行われ、青空に水と笑顔が輝きました。

妊娠・出産から高齢期まで全ての市民を支える 市立病院の医療サービスの充実

総合病院として地域の医療を支え、市民の命と健康を守る市立病院。ここでは、産婦人科と小児科を中心に、充実した同院の医療サービスを紹介します。



24時間365日の体制で

緊急時も安心の産婦人科

市

立病院産婦人科は、市内で唯一の分娩ができる医療施設で、昨年度の分娩件数は158件でした。最大の特長は、埼玉医科大学と連携し、24時間365日、医師が常駐していること。夜間の分娩・緊急入院にも対応できるなど、妊婦の皆さんにとって、安全安心の体制が整備されています。更に、内科や小児科など、他の診療科とも連携して医療を提供することができる総合病院としてのメリットを生かし、双子の妊娠であったり、妊婦に持病があったりする場合など、リスクが高いとされるケースにも対応ができます。

また、女性特有の病気の治療や健康管理に関する相談が

できるほか、豊富な経験を持つ医師が子宮鏡手術にも対応するなど、確かな医療サービスを提供しています。

このような、安心の診療体制や高い医療技術に加え、産婦人科では、現在、さまざまなサービスの充実を進めています（詳細下記）。陣痛の痛みを和らげる無痛分娩が利用できるようになり、9月からは、2人目以降の子を市立病院で出産した場合、3万円割引となるリピート割を実施。また、入院中も快適に過ごしてもらうため、病棟のWi-Fi環境を整備しました。

これからも女性の心と体の健康を守り、医療・費用・環境の面から赤ちゃんの健やかな誕生を力強く支えます。

安全・安心・快適！市立病院産婦人科の新たなサービス

無痛分娩の開始

自然分娩を基本としながら、妊婦の皆さんのニーズに合わせ、無痛分娩も実施できるようになりました。

リピート割 (令和8年9月から)

1人目を出産した医療機関に関わらず、2人目以降の子を市立病院で出産した人を対象に、3万円の割引。

院内Wi-Fiの設置

2階産婦人科病棟では、入院中も快適に過ごせるように、無料Wi-Fiサービスを提供しています。

立ち会い分娩の 対象拡大

分娩時に立ち会いができる人の対象を拡大し2親等までのご家族（父母・兄弟等）5人までとしました。



子どもと家族に寄り添い 健やかな成長をサポートする小児科

小

児科では、新生児から中学生までの子を対象に診療を行っています。東京医科大学と連携して診療体制を整備し、急な発熱や体調不良はもちろん、アレルギーの相談等にも対応します。

そのほか、乳幼児の定期健診や五種混合、BCG、MRワクチン等、小児の定期予防接種も実施。お子さんご家族

も安心の小児科を目指します。

更に利用しやすい環境を整えるため、外来診療のインターネット予約を開始（左記二次元コード）。また、子どもの体調が急変した際には、土日曜・祝日にも診察を行います。身近で安心のかかりつけ医として、これからも子どもたちの健康を守ります。



新たな取組で更に便利に 市民の健康を守る市立病院

長い歴史を持つ市立病院は、市民の暮らしに身近な病院であると同時に、急性期医療を担う、地域の中核病院です。社会の高齢化に伴い、医療ニーズが増大するなか、救急搬送や入院患者の受け入れを強化し、併せて医療サービスの充実を図るなど、経営改善を図りながら、これからも、公立病院としての役割を果たしていきます（詳細下記）。

新たに、予約なしで利用できる外来の午後診療を開始したほか、外来受診が難しくなった高齢者等が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう、訪問診療にも対応。また、放置すると健康に深刻な影響を及ぼす睡眠時無呼吸症候群の検査・治療を開始しました。妊娠・出産から高齢期まで、全てのライフステージで市民の健康を支える市立病院をこれからもぜひご利用ください。

問い合わせ 市立病院（☎ 432・2277）

地域みんなの総合病院・市立病院の新たな取組

午後診療の拡充

産婦人科・小児科に加え、新たに内科・外科・眼科・整形外科で午後の一般外来を開始。更に便利になりました。

訪問診療の実施

外来や入院で市立病院にかかっていた高齢者等が、通院が困難になった際に、訪問診療を行います。

睡眠時無呼吸症候群の検査・治療

日中の眠気や頭痛のほか、脳や心臓にも負担をかける、睡眠時無呼吸症候群の検査や治療を開始しました。

子どもの一時預かり

保護者が外来受診をしている間、院内保育室で子どもの一時預かりが利用できるようになりました（無料）。

ユースクリニックの実施

思春期の悩みや性の悩みを持つ、中学生から20歳代を支援する、ユースクリニックを実施しています。

Interview



蕨市立病院
木内 信太郎 院長

更に身近で便利な市立病院へ

市立病院では将来にわたる安定運営を目指し、職員一丸となって、経営改善とサービスの充実に取り組んでいます。午後の外来診療を拡充するなど、既に実施したいくつかの取組は、患者さんたちに好評です。これからも地域の中核医療機関として市民の健康を守ります。

患者さんの声



いまい 今井 いちごさん
北町4丁目

安心できる温かなスタッフ

自宅から近く、知人から良い評判も聞いていたので、第1子を市立病院で出産しました。初めての出産で不安もあるなか、経験豊富な助産師さんの温かな励ましがとても心強かったです。

市民の暮らしを守り、
蕨の更なる飛躍へ

「あつたか市政」着実に前進

頼高英雄市長が5期目をスタートさせてから3年が経過し、この間、市民の皆さんとお約束した新たなマニフェストは、着実に進められています。ここでは、その進捗状況についてお伝えします。



市民の皆さんと意見交換する頼高市長

実施済みと着手合わせて
マニフェスト達成率92%

5期目のマニフェストは、全50項目（左※参照）あります。この1年間で、母子手帳アプリや市公式LINEの運用開始、ICTを活用した図書館サービスの充実、民間との連携協定や空き店舗有効活用事業の推進など、「実施済み」は30項目に。また、蕨駅西口再開発事業で整備される新図書館の整備基本方針策定や小学校の通級指導教室の増設、蕨駅西口駅前通り整備に係るワークショップの開催など、

マニフェスト実施状況(50項目)

実施済み
60%

※一部実施・着手を合わせた達成率は、92%

◎：実施済み	30項目
○：一部実施・着手	16項目
△：検討中	4項目
★：変更	0項目

「一部実施・着手」が16項目となり、合わせて92%の項目で取組が進んでいます。

今後も市民の皆さんと心を合わせながら、選ばれる・成長するまち蕨の実現に向けて、着実に前進していきます。

駅前行政センター



着実に建設工事が進む蕨駅西口再開発事業（先月9日撮影）

アクセス良く便利な施設

蕨駅は電車に加え、バス路線も集中しているので、駅前に行政センターができると、市内全域からアクセスしやすくなりますね。通勤に蕨駅を利用しているので、平日夜8時まで開いていると、仕事帰りにも寄れるので助かります。



しんや たかゆき
新入 発行 さん
塚越2丁目

自治体DXの推進



「わらべび」では児童館のイベントなど地域の子育て情報を配信

アプリ利用で予約も簡単

子育てアプリ「わらべび」で予約して、両親学級を受講しました。アプリからいつでも申し込めるので、平日に仕事をしている人も予約が取りやすいですね。出産後は予防接種の管理や子育て情報の配信機能が利用でき、便利そうです。



しも の かんた
野 寛太 さん
みずき 瑞葵 さん
南町2丁目

1. みんなが自分らしく、健康で幸せに暮らせるまち蕨へ

ウォーキングコースの標示や健康遊具の設置など、スマートウエルネスシティの取組を推進したほか、市立病院の移転建替えに向け、新市立病院の基本設計案の策定を進めました。

- 市立病院の早期建替えで、安心の医療体制整備
- ◎ 健康まちづくり（スマートウエルネスシティ）の推進
- △ 蕨らしい地域包括ケアシステムを構築
- ◎ 带状疱疹ワクチンへの助成
- ◎ 高齢者の補聴器購入費への補助
- ◎ 県内で最も充実した敬老祝い金の継続
- 障害のある方の生活支援や就労支援など包括的支援体制を整備
- 障害者入所施設の市内や近隣市での設置をめざし、社会福祉法人や近隣市と連携
- ◎ 精神障害のある方へのタクシー券助成
- ◎ ヤングケアラー支援条例の制定
- ◎ 養育費保証支援制度の創設などひとり親家庭への支援拡充
- ◎ 地域福祉計画と再犯防止推進計画の策定
- ◎ ジェンダー平等を推進、多様性を尊重し、パートナーシップ制度を早期に導入

2. だれもが安全で安心して暮らせるまち蕨へ

避難所における災害用トイレの整備や災害用備蓄品の拡充を進めたほか、消防本部にドローンを配備し、消防団の救助用ボートを更に整備するなど、災害用資機材の充実を図りました。

- 災害用トイレの整備や水道の更なる耐震化、大規模水害対策の強化
- ◎ 自主防災組織への支援と民間企業・団体との更なる防災協定の締結
- ◎ 街なか防犯カメラ増設と防犯カメラ設置費補助
- ◎ 交通安全対策や振り込め詐欺被害防止のいっそうの推進
- ◎ 犯罪被害者支援条例の制定と見舞金拡充

3. 子ども達がいきいきと育つ、子育てしたいまち蕨へ

学校トイレのリニューアルや校内教育支援センターの整備、小学校2校の通級指導教室の増設など、小・中学校の教育環境を充実。また、新図書館整備基本方針を3月に策定しました。

- 蕨駅前に、便利で魅力的な図書館を整備（若者コーナー、カフェ、夜間開館等）
- 給食費の完全無償化を国とともに推進 市独自に2人目以降給食費無償化を早急に実施
- ◎ 県南初の18歳までの子ども医療費完全無料化
- 子どもの居場所づくりとボール遊びや自然とふれあえる公園の整備
- 全学校トイレの洋式化とICT環境のいっそうの整備
- ◎ 子ども達が絵本にふれあえる「セカンドブック」事業の実施と読書通帳作成
- ◎ スクールカウンセラーの増員や学習室の拡充など、不登校の子ども達への支援充実
- 発達障害の子や医療的ケア児と家族への支援拡充
- ◎ 産後ケアや一時保育、親子の居場所づくりの充実

物価高騰から市民の暮らしを守る緊急対策（第9弾）

- ◎ 織りなすクーポン第2弾の実施、など（令和5年度に実施済み）

4. 楽しく、活気のあるまち蕨へ

中山道沿いに整備するにぎわい交流拠点の一部として珈琲所コマ珈琲店が開業。また、蕨駅西口駅前通りの整備について、沿道の関係者を対象にしたワークショップを開催しました。

- 蕨の未来への飛躍の核となる蕨駅西口再開発の推進・完成
- 中山道に「にぎわい交流拠点」を整備
- 駅前通りを「にぎわい交流軸」として整備
- ◎ 埼玉版スーパー・シティプロジェクトに参加
- ◎ 街なかの商店で、楽しくお買い物ができるまち（サブリースなど空き店舗活用の推進、創業講座や事業承継への支援）
- △ 中央プールを室内プールに改修、学校とも連携
- 富士見野球場・塚越グラウンド整備、グラウンドゴルフの場の確保など生涯スポーツの更なる推進
- 音楽のまちづくりや生涯学習の更なる推進と充実 公民館等へのWi-Fi設置
- △ 現図書館を文化芸術の拠点として活用を検討

5. 住み心地の良い、日本一のエコシティ蕨へ

地球温暖化対策設備等設置費補助金を拡充し、新たに宅配ボックス、生ごみ処理容器・処理機を対象としました。また、シェアサイクル推進に向け、ステーションを増設しました。

- ◎ ゼロ・カーボンシティを宣言
- ◎ 太陽光発電の補助拡充など省エネ・再エネ加速化
- ◎ プランター・ファームinわらびの推進
- ◎ 民間事業者と連携し、シェアサイクルを実施
- ◎ 片品村などとカーボンオフセットを推進
- 錦町土地区画整理事業の更なる推進
- ◎ マンション管理適正化計画の推進と相談支援体制拡充

6. みんなで創る未来に飛躍するまち蕨へ

蕨駅西口に整備する行政センターの取扱業務や開所時間を決定したほか、母子健康手帳アプリやLINEの活用を進めました。

- 蕨駅前に行政センターとパスポートセンター整備
- ◎ 行政と民間企業・団体との連携（公民連携）推進
- ◎ わらびSDGspartner制度の創設やSDGsp案制度の創設
- ◎ おくやみ窓口設置や外国人の総合相談窓口の設置
- △ 東公民館の行政センター機能強化、塚越ビジョン策定
- ◎ 自治体DXの推進で、便利で効率的な市役所へ

赤字の「◎」「○」は前年から取り組みが進んだ項目

通級指導教室の増設



通級指導教室では児童・生徒一人ひとりに寄り添った支援を実施

頼りになる通級指導教室

学校になじめず、登校を嫌がっていた息子ですが、通級指導教室のおかげで今は利用日が楽しみな様子。先生が児童一人ひとりのことを理解してくれているのがうれしいです。教室が増え、児童が通いやすくなるのは良いことです。



とりい ちあき
鳥居 千秋 さん
南町4丁目

新図書館の整備



中学・高校生の読書・学習活動に役立つ閲覧・学習エリアを整備

新しくなる図書館に期待

小さい頃から図書館を利用して、最近は自習に使っています。新図書館は閲覧・学習エリアが増え、席の予約もできていいですね。カフェコーナーでくつろいだり、駅利用のついでに立ち寄ったり、想像が膨らみ、今から楽しみです。



なが ゆうき
那賀 祐希 さん
中央1丁目

みんな大好き わらびりんご



① 目の農家さんの畑(先月13日) ② わらびりんご公園(先月14日) ③ 武南中学校(先月16日)

笑顔広がるわらびりんご

今年も市内各地でわらびりんごが収穫されました。ここでは、その様子や生い立ち、果汁を使った商品を紹介します。

日本一早く実がなるわらびりんご。蔵生まれのこのリンゴを後世に残し、まちづくりにも生かそうとする普及活動が広がり、今では市内各地で見かけるようになりました。

今年も日ざしを浴びて実を膨らませ、先月、収穫を迎えました。収穫に参加した皆さんは、リンゴをもぐ度にすてきな笑顔を見せてくれました。

収穫したリンゴは加工商品に生まれ変わります(詳細左頁)。販売時期などは左記二次元コードをご確認ください。

これからも、わらびりんごは地域の宝として笑顔の輪を広げ続けることでしょう。



問い合わせ 〓 商工観光課
(☎ 433・7750)



写真：今年も市内各地でわらびりんごが採れました／①錦町地区留守家庭児童指導室(A館)(先月8日) ②南町1丁目の農家さんの畑(先月13日) ③錦町6丁目

わらびりんご商品ラインナップ



サイダー

(1本 250円)

強い酸味が口の中ではじける刺激が特徴。喉を流れる爽快感は夏にピッタリ。



ようかん

(8個入り 650円)

わらびりんごの上品な風味と白あんの優しい味が自慢です。お土産やおやつに。



シャーベット

(1個 350円)

リンゴの強い酸味を生かした、爽やかな味は「First Love Flavor」(初恋風味)。



ジャム

(1個 650円、プレミアムは700円)

わらびりんごの風味を生かしたジャム。酸味が効いたプレミアムもあります。

ご存じですか わらびりんご

錦町の農家、故・吉澤正一さん^{よしざわしやういち}が約20年がかりで研究・開発した蔵生まれのリンゴ。6月中旬～下旬に収穫できる日本一の極早生種です。直径7センチ前後、重さ150～200グラムで強い酸味が特徴です。



1

蕨駅西口再開発 公共公益施設 愛称は「わらら・WARARA」に

整備後のイメージ



今月の特集・わらび市政スポットでは、市が進めている取組の中から、2つの事業についてお伝えします。

蕨

駅西口再開発事業により、来年の秋にオープンする公共公益施設。覚えやすく親しみやすい施設となるよう、3月に愛称の募集を行いました。応募434件の中から「わらら・WARARA」に決定しました。蕨市在住の吉田碧さんが「わらら」、蕨市出身の廣居風花さんが「WARARA」を考案し、ともに最優秀作品として採用となりました。

「わらら」考案者の声



よしだ あおい
吉田 碧さん

小さい子から高齢者まで覚えてもらえるよう、近くにある、くると似た語感にしました。今年から中学生になったので、施設ができたら、新しい図書館で友だちと勉強会をしたいです。わららが皆さんの笑顔であふれる場所になるとうれしいです。

「WARARA」考案者の声



ひろい ふか
廣居 風花さん

駅前のくるとわららを合わせて読んだ時に、かわいい響きになると思いました。高校生までずっと蕨駅を使っていたので、工事の様子を見ていたので、駅前がどうなるか楽しみです。わららや駅前広場が完成したら友だちや家族と見て回りたいです。

館と行政センターが入った施設です。図書館には、カフェコーナーと一体の新聞・雑誌ラウンジや、親子で本に触れ合える児童書コーナー等が設置され、誰もがほっとできる空間に。行政センターには、転出入の手続きや各種証明書の発行の窓口に加え、パスポートセンターが設置されます。市では今後、考案者のお二人が愛称に込めた「みんなの笑顔であふれる場所」となるよう、整備を進めていきます。

問い合わせ〓政策課(☎433・7698)

情報ダイヤル

掲載は無料で抽選です(前月未掲載の団体優先)。申し込み=毎月1日~5日の平日に秘書広報課(☎433・7703)へ

※いただいた情報は、市ホームページにも掲載します。



●仲間になりませんか

- ▼筆文字アート已書 金・日曜日 月2回 午後1時半 自治会館 2200円(初回1100円)〈藤原・hitomisuzura@gmail.com〉
- ▼あさひ絵手紙クラブ 第2月曜日 午前10時 旭町公民館 月1000円〈佐久間・☎441・8392〉
- ▼竹紫館(剣道) 月・水・金曜日 午後6時半 同館(中央212-16) 小学生 月2000円〈榎本・☎080・1197・8321〉
- ▼蕨ラグビースクール 土曜日 午前9時 東小学校 小学生 月1500円〈小林・y.koba.rugby@gmail.com〉
- ▼蕨市水泳連盟水泳サークル 月曜日 昼の部 午後1時半 夜の部 午後7時半 ルネサンス蕨24〈根岸・☎446・5022〉
- ▼わらび錦サッカー 土・日曜日・祝日 午後2時 西小学校 未就学児・小学生 月1500円(2000円(未就学児は無料))〈鈴木・warabinishikisoccer2026@gmail.com〉

蕨市民全員に7,000円分の紙のクーポンをお届け

申し込み
不要！

内 訳

共通クーポン(全取扱店利用可)



× 10枚 = 5,000円

専用クーポン(大型店以外の取扱店で利用可)



× 4枚 = 2,000円

※換金性の高いもの(金券・切手等)や公共料金の支払い等には利用不可。

※クーポンの額面以下のお買い物の場合、おつりは出ません。



お手元に届く封筒のイメージ

暮らし応援券 「織りなすクーポン」第3弾！

対 象

4月1日時点で蕨市に住民登録がある人

利用期間

8月1日～10月31日

対象店舗

大型店を含む市内登録店
舗約400店(先月24日時点)。
詳細は右記二次元コード。



織りなす 蕨市公式LINE コラボキャンペーン

市内商店の更なる応援と蕨市公式LINEの開設
1周年を記念して、織りなすクーポン1,000円分
(専用クーポン)が抽選で1,000人に当たるキャン
ペーンを実施します。右記二次元



コードから蕨市公式LINEを友だち
登録の上、ぜひ、ご応募ください。

対象 = 4月1日時点で蕨市に住民登録がある人
応募期間 = 8月31日まで

※当選者には9月中旬にクーポンを配達します。

応募方法 = 市公式LINEのメニューから申し込み



問い合わせ = 秘書広報課 (☎433・7703)

蕨

しい物価高騰のなか、
家計の応援と市内事業
所の支援のため、市独自の対
策として、全市民に一人70
00円分の「織りなすクーポ
ン」を配ります(概要上枠)。

今月1日から順次発送し、
対面でお届けします(詳細下
枠)。利用期間は8月1日か
ら10月31日までで、利用でき
る店舗にはポスター等が掲出
されますので、ぜひ、この機
会に市内のお店で買い物や食
事などをお楽しみください。

問い合わせ 〓 商工観光課
(☎433・7750)

クーポンは佐川急便で対面でお届け

今月1日から順次発送し、22日までに佐川急便が原則対
面で世帯ごとにお届けします。配達時に不在の場合は不在
配達票の案内に従って再配達の手続きをお願いします。22
日までに届かない場合や佐川急便の再配達指定期間までに
クーポンを受けとれなかった人は、8月6日以降に商工観
光課窓口にてお渡ししますので、事前にご連絡ください。

- ▼蕨南フットボールクラブ 土・日曜日・祝日 南小学校 3歳以下小学生 月500～2000円(佐藤・warabiminami-te@outlook.jp)
- ▼北町囲碁クラブ 土曜日 午後0時半 北町公民館 無料(小林・☎431・3180)
- ▼蕨塚越サッカー 土・日曜日・祝日 東小学校が塚越小学校年長小学生 月2500円(金子・☎090・7263・6609)
- ▼蕨北町サッカー 土・日曜日・祝日 北小学校 年中小学生 月1500～2000円(未就学児は年2000円)(小泉・☎090・4948・5936)
- ▼南囲碁クラブ 火曜日 午前9時半 南公民館 無料 蕨市出身プロ棋士による指導あり(不定期)(山本・☎432・4543)
- ▼健康麻雀カレッジ 中央公民館 月曜日 松原会館 水曜日 北町公民館 金曜日 南公民館 土曜日 午後0時半 月100円 1回1000円(中谷・☎070・6473・5335)
- 参加しませんか
- ▼ジュニアテニススクール 8月2日・11月29日 全10回 午前7時半 富士見テニスコート 小・中学生 先着40人 5000円(蕨市テニス協会 田代・☎070・6460・0193)
- ▼蕨断酒会 7日(火)旭町公民館 10日(金)南公民館 16日(木)中央公民館 午後7時(大住・☎090・2749・9640)

笑顔広がるパラスポーツ

5月30日、市と蕨パラスポーツ指導者クラブが協働で実施するSDGs推進事業の一つ「わらびパラスポーツひろば」が、総合社会福祉センターで開かれました。集まった75人はボッチャや卓球バレーなどに挑戦し、障害のある人もない人もみんなで楽しめるパラスポーツの魅力を体験しました。



みんなでまちをきれいに

先月7日、まち全体で清掃活動に取り組む「さわやか環境の日・クリーンわらび市民運動」が市内全37町会で実施されました。参加した3,125人の皆さんが、手分けして道路や公園などのさまざまな場所の清掃と草刈りを行い、集めたごみは合計5,610kg。早朝からのご協力、ありがとうございました。

人とペットの終活を学ぶ

先月7日、旭町公民館でSDGs推進事業「ねこと暮らす高齢者支援事業」が開催されました。人とペットの終活について、行政書士の田代さとみさんが講演。個別相談も行われ、参加した12人はたいせつな家族であるペットのために、飼い主が元気なうちに考えておくことを学んでいました。



まちの話題

ここでは5月下旬から6月中旬までの話題を紹介します
ビデオマークがついている話題はCATVで放映します



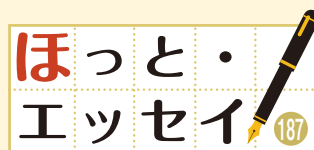
「ハローわらび」7月の番組表

市からのお知らせ・地域の話題などをお送りします

放送時間は、毎日午前9時・正午・午後3時・6時・9時からそれぞれ45分間です。

	7/3(金)～9(木)	10(金)～16(木)	17(金)～23(木)	24(金)～30(木)	31(金)～8/6(木)
00	タウンタウンワイド	市政ガイド	タウンタウンワイド	市政ガイド	タウンタウン
	七夕の短冊をつくろう	わらび市政ほっとNews	消防署を見学してみよう	わらび市政ほっとNews	アイマスク・車いす体験 in 中東小
05	苔玉教室	タウンタウン ちょこっと 貯筋体操教室けやき	じゃがいもほり	タウンタウン	わらてつまつり2026
10	フレイル予防教室	市政ガイド	ハーバリウム教室	あさがお・ほおずき市	
15	親子リトミック	熱中症にご注意ください	子ども防災ひろば119	平和特集 歴史民俗資料館 第37回平和祈念展 「統制されるモノ・ヒトー 変わりゆく生活の風景」	蕨市政なう！ 市民の暮らしを守り 蕨の更なる飛躍へ 市長マニフェスト
20	特集・ウィークリープラス みんな大好き地域の宝 わらびりんご	美術探訪 河鍋曉斎記念美術館	特集・ウィークリープラス みんなで踊ろう 盆踊り！	安全安心なまちづくり お気をつけください バッテリーの捨て方	採れたてスポット 地域の話題が盛りだくさん
30	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報	知って得する暮らしの情報

「ハローわらび」DVD／放送終了後から貸し出します 無料 詳細・貸し出し場所＝秘書広報課（☎433・7703）



織りなすクーポン第3弾で
市民生活を守るため全力！

市長 頼高 英雄

長引く物価高騰が続くなか、円安や中東情勢の影響により、食料品や日用品など生活必需品の更なる値上げラッシュの懸念が高まっています。

私は、市長就任以来、暮らしを支える「日本一のあったか市政」を掲げてきましたが、市民生活が厳しい時だからこそ、市長として、物価高騰から市民生活と地域経済を守るため、全力を挙げる時だと考えています。そんな思いから、

蔵市の新たな物価高騰対策である「織りなすクーポン」第3弾では、国の交付金に市の独自財源を加え、これまでの一人5000円分の暮らし応援券から7000円分へ、思い切った拡充を行いました。これは、県内でも充実した支援策であると思っています。そして、いよいよ今月、民間の配送事業者を通じて、全てのご家庭にクーポン券をお届けします。利用は8月1日から10月末までの3か月間です。

厳しい物価高騰のなか、今回の織りなすクーポン第3弾を、家計の一助にしてください。くとともに、地元のお店での買い物や食事を楽しんでいただき、地域経済の好循環にもつなげていきたいと思います。

市民と市長の面会日

面会日は毎月第1木曜日。ただし、今月は9日です。8月は6日です。時間は午後1時～5時を予定しています。ご希望のかたは秘書広報課（☎433・7701）へご連絡を。



七夕飾りに願いを込めて

先月12日、福祉・児童センターの乳幼児クラブで七夕の短冊作りが行われました。織姫や彦星を貼り付けた七夕飾りを作った後、思い思いの願いごとを記した短冊を笹に飾りつけ、最後はみんなで「たなばたさま」を合唱。参加した5組は親子で触れ合いながら一足早い季節の行事を楽しみました。

あおと 蒼翔ちゃん（2歳3か月）

谷向 純さん

早さんの 長男

北町4丁目



が家のアイドル

-651-

「恥ずかしがり屋で私たちの後ろによく隠れていたけれど、最近は保育園のお友達の名前を呼んで仲良く遊んでいて、成長を感じます」と母親の早さん。「パソコンで仕事をしている私のまねをして『あおちゃんも仕事する！』と手伝おうとするのがかわいいです」と父親の純さん。「夢中になれることを見つけて、のびのびと想像力豊かな子に育ってほしいですね」とお二人。



貯筋体操で
みんな元気に

高齢者の暮らしを支援する第一地域包括支援センターでは、「ちょこっと 貯筋体操教室けやき」を月1回実施しています。先月12日は北町公民館で開かれ、38人が参加。いつまでも元気に暮らすために役立つ、ストレッチや筋力アップ体操を教わりました。



ボッチャの道具を手に「共生社会を目指します」と武田さん

輝いています

ひと

蕨パラスポーツ指導者クラブ代表

たけだ きよたか
武田 清貴 さん

誰もがいっしょに楽しめる社会へ

「がんばっている人に寄り添い、力になりたい」と話すのは、非営利団体蕨パラスポーツ指導者クラブ代表の武田清貴さん（50歳・北町5丁目）。ボッチャやフライングデイスクなど、障害の有無に関わらず楽しめるスポーツを広める活動をしています。パラスポーツに関わるようになってきたきっかけは、娘の病気で、小学1年生の夏休みに突然倒れ、重い後遺症が残る可能性を告げられます。懸命なりハビリを重ね、少しずつ回復する姿を見守るなかで、「娘といっしょに楽しめることはないだろうか」と考え、パラスポーツ指導員の資格を取得し、活動を始めました。

その後は埼玉県パラスポーツ指導者協議会に所属。週末は大会運営や競技サポートなどに携わります。障害に負けず挑戦を続ける人たちに寄り添うことで、自身も娘の障害と向き合う力をもらいました。昨年、有志とともに蕨パラスポーツ指導者クラブを設立。障害がある人が楽しめる場を市内に作ろうと奮闘しています。今年からは、その思いを形にして「わらびパラスポーツひろば」を開催。5月の第1回は試行錯誤の連続でしたが、「全員に楽しんでほしい」と仲間と会場レイアウトや体験内容を何度も練りました。期待と不安で迎えた当日。会場は予想を上回る多くの人でにぎわい、来場者の笑顔であふれました。誰もが分け隔てなく交流する様子は、武田さんの思い描く共生社会そのものに開く第2回では、更に多くの人へパラスポーツの魅力を届けようという意気込みです。「障害のある人もない人も、みんなが自然体で交流できる場を増やしていきたいです」と笑顔で語る武田さん。寄り添う思いは仲間とともに、これから先も広がり続けます。

今月の河鍋暁斎記念美術館

天才絵師の作品 蕨にあり

—No.122—

本作品は現在の展覧会で御覧いただけます



暁斎筆「団扇 花鳥図」(部分)
万延元年(1860) 伊勢惣板 団扇絵

幕末・明治期の夏、人々は団扇や扇子で風を起こして涼んでいました。中でも団扇は、団扇用の多色摺木版画を買って、持っている団扇の絵を自分で剥がし、貼り替えて楽しむということが行われていました。

人気絵師の暁斎は、多くの団扇問屋から依頼され、さまざまな団扇絵を描いたことで知られています。ただ、完成前の校正刷りにあたる校合摺や、更にその

の前の下絵は多数現存していますが、団扇のままで残っていることは珍しく、完品で現存する本図は大変貴重な作品です。

yosai
Kawanabe

現在の茨城県古河市に生まれる。浮世絵や狩野派を学び、江戸・東京の庶民から人気を博す。明治9年、万国博覧会に肉筆画を出品。14年、内国勸業博覧会で日本画の最高賞受賞。娘の暁翠も日本画家。



かわなべ きょうさい
河鍋 暁斎
天保2年(1831)
～明治22年(1889)

河鍋暁斎記念美術館
開催中(8月24日まで)

企画展「暁斎・暁翠 いきものを描く」展
同時開催 特別展「第40回かえる展」

開館＝午前10時～午後4時

ところ＝南町4-36-4

休館＝火・木曜日(祝日除く)、26日～末日

入館料＝一般600円 高校生・大学生500円

小・中学生300円 65歳以上500円

※学生は学生証、65歳以上は年齢の分かる物
をご提示ください。

詳細＝同館(☎441・9780)



詳しい内容は
美術館のホーム
ページを御
覧ください